

令和2年 12月 7日（月）

「あたたかい谷戸小学校に」

寒くなりました。今、季節は冬ですが、今日7日からは大きな雪と漢字で書いて大雪と読む季節に入りました。北国では雪が積もる頃という意味で、いよいよ本格的な冬がやってきます。寒い季節ですが、心はあたたかくいてほしい、そんな思いで今日のお話をします。

みなさんは11月にあいさつ運動に取り組みました。どのクラスもめあてを決めて、一人一人で行いました。校長先生は、正門でみなさんと毎朝あいさつを交わしますが、このひと月、みなさんのあいさつがとても素晴らしくなって、とてもあたたかい気持ちになれました。どうもありがとう。お礼に、みなさんがあたたかい気持ちで学校生活のスタートを切れるように、これからも正門前でみなさんを、心をこめたあいさつで迎えます。

よく、「あいさつは魔法のことば」と言われます。どんな魔法だと思いますか。された人だけでなく、した人の心もあたたかくする魔法、幸せにする魔法、それがあいさつだと思います。みなさんには、相手も自分も幸せにする魔法の上手な使い手になってほしいです。

あたたかい言葉とは反対に、人を傷つける言葉もあります。どんな言葉が人を傷つけるでしょう。ときに、人をからかうこと、最近「いじる」というようですが、相手をいじることで、面白おかしい気分になろうとすることがあります。いじられた人は笑っていた

として、本当に楽しいでしょうか、幸せでしょうか。笑いの向こうで悲しむ人がいることは、けっして楽しいことではありません。

また、暴力もいけません。ときに意見がちがったり、約束を守れなかったりしたときに、けんかになることもあるでしょう。そんなときでも、手を出せば、結局は相手も自分も傷つきます。何の解決にもなりません。人を傷つける言葉、暴力はやめましょう。心に刻んでください。

さて、今年、谷戸小の先生方は「心をつなぐあったか指導」というスローガンをかかっています。あいさつだけでなく、普段の授業や生活の中で、みなさんの気持ちを大切にしておたたく指導していくことを宣言しています。ときには叱ることもあります。でも、あたたかな言葉で、いけないことを注意できるように、先生方は心がけています。今、前に座っておいしそうに給食を食べている先生を見てください。あったかいでしょう。

それでも、絶対に間違いがないとは言い切れません。あってはならないことが起こらないように、注意深く見守る責任があります。

そこで、明日、みなさんにアンケートを行います。アンケートは、きょうだい学年の先生が担当します。正直に、まじめに、答えてください。みなさんの書いた回答の内容によっては、校長先生と副校長先生が、あなたを守るためにそっとお話を聞かせてもらいます。

それでは、今日の放送を例の魔法の呪文で締めくくります。谷戸小が楽しくあたたかな学校で、先生方はあったか先生で、やとっこがあたたかな言葉の魔法使いになれますように！

「おあおおおあいあう」